



秋の水源地の風物詩「炭焼き体験」(11月26日)

主な内容

- 第50回市展入賞作品紹介……………②～⑤
- 第14回加茂菊花展開催……………⑥～⑦
- 功労を讃え秋の叙勲……………⑧
- 歯の健康「在宅歯科医療連携室」……………⑨
- 総体の結果……………⑨
- 加茂の風土記「『妙越庄』墨書土器」……………⑩

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。

第50回 市展

市展賞受賞作品

11月3日（金・祝）から7日（火）まで第50回市展（加茂市美術展）が市民体育館で開催され、会期中には大勢の皆さまから来場していただきました。ここでは入賞した作品を紹介します。

日本画

「冬を待つ」 相田梨美さん



洋画

「変わる」 大野美優さん



書道



「唐詩二首」
相波富月さん

写真



「秋の斜光」
三浦ヒロイさん

工芸



「(染)タペストリー(おmoi)」
本多千晴さん

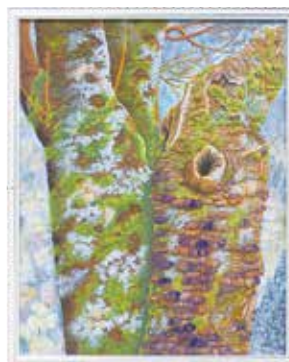
第50回 市展 新潟日報美術振興賞受賞作品



洋画「形」吉田如菜さん



工芸「朝の奏で」
佐藤正子さん



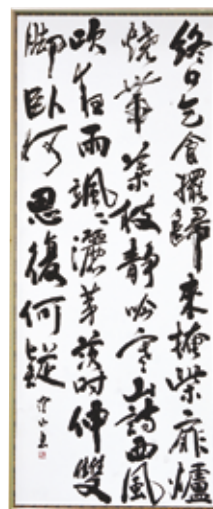
日本画
「古桜」田中佳子さん



写真「成長記」
外石智慧子さん



彫刻「挑戦」
小柳美佐子さん



書道「良寛歌」藤井澄山さん

第50回 市展 特別賞受賞作品



書道
「金葉和歌集より」
大橋香汀さん



洋画「静物」山際正夫さん



日本画「熊野古道」
中澤和子さん



写真「街角の少女」
高橋一行さん



工芸「彼方へ」
馬場桂子さん

第50回 市展 奨励賞受賞作品



日本画
「地球瞑想画・旅立ち」坪谷蒼深さん



洋画「冬の粟ヶ岳」
福井三男二さん



工芸「夜空」
田代カチノさん



書道「臨 高野切第一種」長谷川芳恵さん



工芸「静」永井和子さん



書道
「高啓詩」
川島松一さん



写真「譲位の日」
樋口八重子さん

第50回 市展 振興賞受賞作品



書道「臨 賀蘭汗造像記」
金子万優さん（三条東高校）



工芸「夢」滝沢歩夢さん
(加茂農林高校)



写真「蜜を求めて」
鈴木與三郎さん

第五十回市展の各部門で市展賞を受賞された皆さんから感想や作品についてのコメントをいただきましたのでご紹介します。

【日本画】「冬を待つ」

相田梨美さん

「何処にでもありそうで無い：」池の端の奥のボロボロに禿げかけた杉が目に残りました。丁度夕日が射し込み、踏ん張ってしなやかに立つ姿に惹かれ、見上げると神社の屋根がありました。

「そんな木はどこにもある。よく見かける！」と夫に一蹴され、「平凡かなあ：」と迷い、先生や会の仲間と相談すると、「面白い！」と背中を押して頂いて取り掛かる事が出来ました。

何処にでもありそうで無い様な私の感じた印象を伝えられる様、心掛けて描きました。そんな作品を評価して頂いて大変嬉しく思います。

最後になりましたが湯澤先生には熱心に御指導頂き、又、加萌会の皆さんに色々アドバイスを頂き本当にありがとうございます。

【洋画】「変わる」

大野美優さん

今回は荣誉ある市展賞に選んでいただき、心から感謝申し上げます。

す。

今回の作品を見た皆様からは

「これはなんだ」とよく聞かれました。モチーフになったのはコウイカと呼ばれるイカです。私は四月から社会人となり、生き物に関わる仕事をしています。そんな職場で出会ったコウイカは体色を変えられることができる不思議な生き物。

この一年は自分の心の変化が大きく、また今後社会人として成長していきたいという思いが強かったため、最高のモチーフでした。意味の分からない不思議な絵だとは思いますが、何か汲み取っていただけなら幸いです。

また今回制作にあたり、周囲の方から応援して頂き嬉しく思いました。以前より制作時間は短くなりますが、より良い作品を作りたいと思います。

【工芸】

「(染) タペストリー(おもい)」

本多千晴さん

「タペストリー『おもい』に思うこと」

このたび、第五十回加茂市展において、タペストリー「おもい」が市展賞を頂き、ただ、感激しております。

この絞り染めにつきましては、以前、加茂市の花である雪椿の花

びら染めの講習を受け、絞り染めに興味を持ちました。

新潟では、日本の三大絞り(名古屋の有松絞り、大分の豊後絞り、それに新潟の白根絞り)のあることを知り、白根絞りの基礎を習いましたが、あまりにも奥の深いものでした。

今年は、五十回の記念すべき市展とのこと、出品を勧められ、挑戦することになりました。

絞りには、いろゝの技法がある中で、比較的単純であります。流動的なデザインと思いましたが、思いました。

このタペストリー「おもい」が皆様の評価を受け、市展賞を頂き、何より励みになりました。

これを機会に一層の努力をしたと思っています。

【書道】「唐詩二首」

相波富月さん

この度は市展賞をいただき、身に余る光栄に思います。ありがとうございます。

常々、熱心に御指導して下さいました先生、共に学び励まして下さった同僚の方々、協力してくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

墨の香りの漂う部屋で、これから書こうと思う詩の情景や想いを思い浮かべながら、真っ白な紙に

向き合い、筆を走らせている時は無心になれる、とても幸せな時間です。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、ゆつくりと楽しみながら、生活の一部として、書が続けていきたいと思えます。

【写真】「秋の斜光」

三浦ヒロイさん

第五十回という、記念すべき年に思いもしない大きな賞をいただき、驚きと感謝でいっぱいです。

写真を始めたきっかけは、夫が趣味で写していました。友人達の作品展を見に行ったり、撮影と一緒にいたりしているうちに、自然の美しさに惹かれ、自分もカメラを持ち歩くようになりました。

この作品も、寒い朝に光芒が出るかもと思いつき、朝食も食わずに撮影場所へ。案の定、杉の木の間から光が、ご褒美のように朝靄が水辺から。感動しながら急いで三脚を立て、夢中でシャッターを切った一枚が思い出の残る写真になりました。

賞をいただいた事を励みとして、健康に気を付け、仲間の皆さんと楽しく、心に残る写真を撮ることができたらと思っています。本当にありがとうございます。

第十四回加茂菊花展開催

第十四回加茂菊花展が十一月六日から二十三日まで、冬鳥越スギーガーデン特設会場で開催されました。

今年は、百七十五点の作品が展示され、開催初日となる六日の午前中に審査があり、午後からの表彰式で各部門の入賞者に賞状が贈られました。

表彰式で小池清彦市長は「花を



愛する人は、心がやさしく、美しい人であることがわかります。菊の花は一年を通して愛情を注ぎこまなければならず、その御苦労に感謝し、鑑賞を乐しませていただきます。」とあいさつしました。

今年も新潟県菊花連盟副会長の武田三郎先生と同前中菊副部長の小林與三郎先生から審査していただきました。武田三郎先生からは



「天候に合わせて、とてもよく育てられています。」と講評をいただきましたが、近年、菊を育てる愛好家が少なくなってきたことから「鑑賞だけでなく、育てる楽しさを皆さんと一緒にひろげていきたい。」と話されました。

今年の加茂菊花展で入賞された皆さんは次のとおりです。

総合賞

市長賞Ⅱ懸崖「阪神輝」

吉田茂（新津）

二等賞Ⅱ厚物三幹「精光右近」

大竹与市（白根）

三等賞Ⅱ中菊「泉郷ノ愛唱」

成澤一男（新津）

部門賞

■管物三幹 優秀賞「泉郷富水」

長谷川三作（新津）・一位「清見

黄霞」大竹与市・二位「泉郷情熱」

青木丞輔（燕）・三位「天女の袖」

難波孝（加茂）

■厚物三幹 優秀賞「精光右近」

大竹与市・一位「大平銀峰」大竹

与市・二位「新太平銀峰」長谷川

三作・三位「国華幸」大竹与市・

三位「国華香菊」大竹与市



盆栽 優秀賞「白朝」長谷川三作さん



だるま 優秀賞「泉郷富水」高橋輝継さん



木付け 優秀賞「阪神の誉」涌井秀一さん



市長賞 懸崖「阪神輝」吉田茂さん



(写真右) 二等賞・厚物三幹「精光右近」大竹与市さん (写真中) 管物三幹「泉郷富水」長谷川三作さん (写真左) 七幹立「国華金山」高橋輝継さん

■懸崖 優秀賞「阪神輝」吉田茂・一位「大黄丸」洪谷正明(白根)・二位「歌枕」中村申男(新津)

■七幹立 優秀賞「国華金山」高橋輝継(加茂)・一位「国華金山」成澤一男

■盆栽 優秀賞「白朝」長谷川三作・一位「席」佐藤茂(新津)・二位「紅雀」長谷川三作・三位「野知の白峰」長谷川三作・三位「黄虎」洪谷正明



出展団体と審査員の皆さん

■中菊 優秀賞「泉郷ノ愛唱」成澤一男・一位「江戸黄八丈」田邊政一(五泉)・二位「国華金山」大竹与市・三位「新玉光院」樋口美代子(加茂)・三位「元禄丸」安中朝次(加茂)

■だるま・福助・切花 優秀賞「泉郷富水」高橋輝継・一位「国華越山」大竹与市・二位「泉郷情熱」青木丞輔・三位「泉郷富水」高橋輝継・三位「泉郷富水」大竹与市

■木付け 優秀賞「阪神の誉」涌井秀一(上下条)・一位「輝」涌井秀一・二位「輝」松田満(上下条)



三等賞 中菊「泉郷ノ愛唱」成澤一男さん

加茂郷菊花同好会菊花展

青海神社境内を会場に、十月三十日から十一月四日まで加茂郷菊花同好会菊花展が開催されました。

開催中には、市民体育館で市展が始まり、会員の皆さんが大切に育てた大輪の花と市展・公民館作品展を楽しむことができました。



秋の叙勲

秋の叙勲において、加茂市から三名の方が受章されました。受賞された皆さんから、お話を伺いました。

瑞宝双光章（消防功労）



佐原 禎一さん
(71歳 本町)

佐原さんは、昭和四十九年から平成二十八年まで四十一年間にわたり、消防団活動に従事し、災害対応、防火啓発に務められました。平成十九年からは消防団長として、活動の指揮を執られました。受章の知らせには「先輩方が築いてこられた組織の中で、同僚や後輩、消防署の協力と地域の皆さんの理解をいただいたことに感謝しています。」と話されます。

所属した第二分団第二部（駅前・穀町・本町・仲町）は発生した火災の場所や規模にかかわらず出動しなければならず、「商売の

お客様やご近所、家族には心配をかけた」と思ったそうです。近年は住宅様式・火気製品の変化に対応した消火方法の研究・訓練が重ねられています。また、大雨による自然災害対応の出動も増えていきます。団長の時は、団員をまとめることと消防署との連携を円滑に行えるように心がけたそうです。退任されてからも「今までどおりの生活に変わりはありませんよ。」と話されていました。

瑞宝単光章

（社会福祉功労）



川口 タカさん
(82歳 神明町一)

川口さんは、昭和四十七年から三十四年間にわたり民生・児童委員として福祉支援の活動をしてこられました。受章について「大変光栄なことと思うと同時に、私がいままでいいものか。」と思われました。

民生委員になった当時は、ほか

の委員は両親が祖母くらい年齢の方々ばかりでした。そういった社会経験を積み重ねた人たちと同じことができるのか心配だったと話されます。また、様々な不安を抱えた家庭環境に接した後で、まだ他にできることがあるのか、同じ目線に立てて考えているのかと振り返ることも多かったといいます。

いろいろなケースに対応していた中で、ご近所の方や施設・福祉担当の職員、そして何より家族の理解と協力は、今でも感謝を忘れないそうです。

今は認知症予防のため、パソコン愛好会の皆さんと和気あいあいとパソコン操作を楽しんでいると話していただきました。

瑞宝単光章

（統計調査功労）



菊田 泰策さん
(76歳 仲町)

菊田さんは、昭和五十年から四

十年間にわたり統計調査員を務められました。受章について「信用・信頼して協力してくれた皆さんがいて、長く続けられたことに感謝しています。」と感想をいただきました。

これまで携わった調査は、工業統計調査から始まり、国勢調査、商業統計調査など十数種類におよびます。担当する区域は、駅前から五番町まであり、加茂川改修前には、工場や事業所の三分の二が木工関連だったということです。忙しい中、調査に協力してもらうには、お願いすることはもちろん、聞き上手になることを心掛けたそうです。その中で、自分の知らない昔の加茂の街のようすを聞くことがあり、時代の移り変わりを知ることができました。

これまで消防団、民生・児童委員、区長などを歴任されましたが、今は明治元年から続く旅館の主人として、「利用してくださるお客様を大切にしたい」と話していただきました。



お家で歯の治療ができます！

在宅歯科医療連携室のご案内

在宅歯科医療連携室は、介護が必要で、歯科医院への通院が困難な高齢者の方などを対象とした在宅歯科医療の申し込みや、歯や歯ぐきの痛み、入れ歯がこわれた、合わない等、歯やお口のことですべての方の相談に応じます。

ご家族はもとより、介護サービスを担当している施設、事業所の方、医療機関の方々等、お気軽に



ご相談ください。「口腔ケアは介護の基本」口腔ケアは誤嚥性肺炎やインフルエンザを予防します。介護施設職員を対象とした口腔ケア実地研修も行っています。

(加茂市歯科医師会)

加茂・田上在宅歯科医療連携室

〒959・1326

加茂市青海町1・9・1

加茂病院(支援センター内)

☎・FAX 五三・八二一一

受付時間 月～金 九時～正午

※祝日を除く

第60回総体結果



サッカー

期日 十一月三日

会場 市営サッカー場

【小学生の部(9歳以下)】

- ①新潟ナポリFC三条ジュニア②巻サッカークラブ③加茂フットボールジュニア



駅伝競走

期日 十一月三日

会場 陸上競技場周辺周回コース

(1区間2.2km)

【3区間6.6kmコース】

- ▼中学生女子の部①田上中学校②エリザベス3世(葵中陸上競技部)③天才BAKABON(葵中陸上競技部)▼高校一般女子の部①加茂農林高校B②加茂農林高校A

【5区間11kmコース】

- ▼小学生男子の部①石川小6年ラッナーズ②加茂ジュニア陸上B③加茂ジュニア陸上A▼小学生女子の部①加茂ジュニア陸上D②フアィアーガールズ③加茂ジュニア陸

上C▼中学生男子の部①葵エンジェルS!(葵中陸上競技部)②田上中学校③カチこおる(葵中・若宮中合同チーム)▼高校一般男子の部①加茂農林高校②Funners③加茂SCピッツァー

【区間新記録】

- ▼高校一般男子の部 小柳泰治(加茂農林高校 第2区間6分50秒)

- ▼中学生女子の部 武田芽依(田上中学校 第1区間7分36秒)



バスケットボール

期日 十一月四日

会場 加茂中学校体育館

【中学生男子の部】

- ①葵中学校A(3年生)②葵中学校B(1・2年生)③加茂中学校2年生③加茂中学校3年生



バレーボール大会

期日 十一月四日

会場 勤労者体育センター

【中学生女子の部】

- ①加茂中学校②葵中学校③須田中学校

馬越遺跡出土の「妙越庄」墨書土器

みょうえつしょう ぼくしよどき

記録に残らない初期荘園

馬越遺跡は下条川左岸にあり、平成十一年八月にかけて国道四〇三号線バイパス建設工事及び吉津川地区圃場整備事業に伴い発掘調査された。調査により八世紀中頃

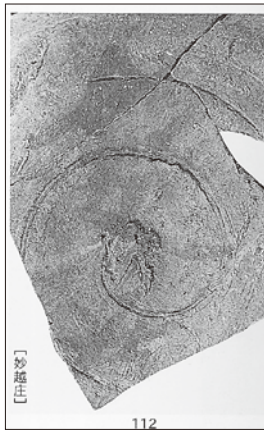
語としては「荘園」と記すことが多い。

十世紀前半、奈良～平安時代の建物跡を中心とした多彩な遺構や遺物が確認され、地域の経営拠点で中心的集落であったことが判明した。

記録に残る越後国の古代の荘園は東大寺領、西大寺領など十二の荘園が知られているが、ほとんどが詳細な場所が分っていない。唯

中でも特に注目される遺物に九世紀前半の須恵器無台杯の底部に「妙越庄」と記された墨書土器がある(写真・図参照)。「妙越庄」の意味は初期荘園の名称と考えられる。初期荘園とは古代律令制の田地・人の公有の原則に対し、上級貴族や有力寺院が八世紀中頃から土地を私的所

馬越遺跡出土の墨書土器(左)に書かれた「妙越庄」の文字(右)



馬越遺跡出土の墨書土器(左)に書かれた「妙越庄」の文字(右)

一、発掘調査により建物跡とともに「石井庄」と記された墨書土器が多数出土した上越市の岩ノ原遺跡が頸城郡にあった東大寺領石井荘で荘園経営の中心施設である荘所にあたる場所と考えられている。

これに対し、馬越遺跡の「妙越庄」は記録に残らない初期荘園である。岩ノ原遺跡、馬越遺跡のほかに県内では八遺跡から「庄」の墨書土器が出土している。新潟市林付遺跡では「川合庄」、長岡市川東遺跡では「泉田西庄」という墨書土器が出土しているが、どちらも史料には見られない初期荘園である。これらは有力寺院などではなく在地の有力者が経営した荘園と考えられる。

なお、馬越遺跡からは「妙越庄」墨書土器に先行する八世紀後半の須恵器杯蓋の内面に「三宅」、後続する九世紀後半の須恵器無台杯の底部に「中家」の墨書土器が出土し、「三宅」↓「妙越庄」↓「中家」と初期荘園の施設名に関係した墨書が複数認められ、初期荘園研究の重要な資料となっている。

(伊藤秀和)

人口のうごき

11月1日現在
 世帯 10,305 (-4)
 人口 27,797 (-44)
 男 13,485 (-15)
 女 14,312 (-29)
 ()内は前月比
 (10月異動分)
 出生 9 (男3女6)
 死亡 37 (男17女20)
 転出 49 転入 33